

# Express5800/R320b-M4 Express5800/R320a-E4 ご使用時の注意事項

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本製品をご使用いただくにあたり、一部注意事項がございます。誠に恐れ入りますが、  
ご使用前に下記を必ずご一読いただき、ご注意くださいようお願い申し上げます。  
なお、本書は必要なときにすぐに参照できるよう大切に保管してください。

## 1. UPDATE 媒体について

本装置に添付の構成表を確認してください。  
UPDATE 媒体(CD または DVD)が添付されている場合には、ft 制御ソフトウェア (ft Server Control SW)  
を最新にするために UPDATE 媒体の適用が必要です。  
(※工場出荷時は、本 UPDATE 媒体を適用して出荷しています)

**本装置を安定してご利用いただくために、OS を EXPRESSBUILDER DVD で再  
セットアップした際には、必ず UPDATE 媒体によりアップデートを行ってください。**

UPDATE 媒体の適用は、装置の LED が二重化状態を示している状態で行ってください。LED によるステータスの確認方法はユーザーズガイドを参照してください。

Hyper-V のインストールを行う場合は、Hyper-V のインストールより前に、UPDATE 媒体を適用してください。

## 2. ダイナミックディスク構成時の注意事項

システムディスクは、必ずベーシックディスクで使用してください。データ用のディスクのみ、ダイナミックディスクで使用できます。

## 3. RAID-1/RAID-5の構成について

ダイナミックディスクでミラーボリューム(RAID-1)/RAID-5ボリュームを構築すると、FTサーバの状態を表すシステムFTランプ、Safe To Pullランプが正しく表示されず、  
またPCIモジュールの二重化、縮退の情報が正しくイベントログに出力されない場合があります。

ダイナミックディスクを使用する場合は、データ用のディスクのみダイナミックディスクに変換し、  
シンプルボリューム、スパンボリューム、またはストライプボリュームで構築してください。

## 4. CD/DVD メディアご使用時の注意事項

CD/DVD メディアをご使用になる場合、使用後はすみやかにメディアを取り出してください。  
CD/DVD メディアが挿入された状態で CPU/IO モジュールの組み込み処理が行われた場合、これに失敗することがあります。組み込みに失敗した場合、CD/DVD メディアを取り出してサーバの再起動を行うことにより、復旧することができます。

## 5. Symantec pcAnywhere の注意事項

Symantec pcAnywhere をインストールすると、システムが正しく二重化されない等、動作が不安定になることがあります。Symantec pcAnywhere を使用している場合、アンインストールをお願いします。  
リモートアクセス/操作が必要な場合は、弊社サポート製品の「WebSAM WinShare」を推奨します。

## 6. リモートデスクトップにおける画面設定時の注意事項

本装置にリモートデスクトップにて接続する場合は、リモートデスクトップ画面の色数を 16 色(4bit)以下に設定しないでください。色数を 16 色以下に設定するとエラーが発生する場合があります。

## 7. AC 通電タイミングの注意事項

UPS(無停電電源装置:別売)をご使用になる場合などは、CPU/IO モジュール#0 及び#1 への AC 通電の間隔時間が 180 秒以内になるように UPS のスケジュール設定をするなどの処置を実施してください。AC-LINK の設定によっては、この間隔以上空いて AC 通電されますと片系で OS 起動を実施するため、Disk のミラー化が解除されます。

## 8. メモリダンプ採取時の注意事項

システムクラッシュの発生やダンプスイッチの押下等によりダンプの採取が行われる場合、サーバが起動した後で[イベントビューア]の[システム]に、以下のイベントが登録されることがあります。

ソース : srabid  
種類 : エラー  
ID : 4096  
説明 : CpuBoard dump, to file '[ファイルパス]', has failed because the CpuBoard is not holding a valid memory dump image (0xd)

上記のイベントが登録されていても、ダンプファイルは保存されますので、上記イベントは無視してください。また、以下のイベントが登録されていることを確認して、ダンプファイルが保存されていることを確認してください。

ソース : Save Dump  
種類 : 情報  
ID : 1001  
説明 : このコンピュータはバグチェック後、再起動されました。  
バグチェック:[XXX]([XXX],[XXX],[XXX],[XXX])  
ダンプが保存されました: [ダンプファイル名]  
※上記[説明]中の[XXX]の部分は、状況によって異なります。

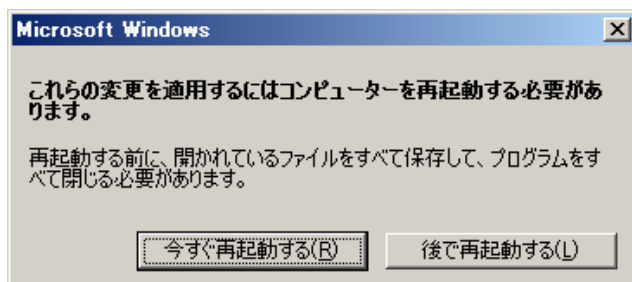
## 9. PCIモジュールのフェールオーバー発生時の注意事項

故障や保守などによりPCIモジュールのフェールオーバーが発生した場合、稀に、キーボード/マウスの認識に時間が掛かる場合があります。5分程度で認識されますので、正常に認識されるのを待ってからご使用ください。

## 10. 再インストール時の注意事項

シームレスセットアップまたはマニュアルセットアップでの再インストールの際、ft Server Control Softwareのインストール中に各種のポップアップメッセージやダイアログが表示されますが、全て自動的に処理されます。以下のダイアログが表示されるタイミングがありますが、自動的に処理されますので、キーボードやマウスからの操作は行わないでください。

不用意にセットアップを中断すると、OS起動に支障をきたす場合があります。



## 11. Hyper-V使用時に適用必要なQFE

Microsoft 社より「Hyper-V を使用する際の問題点」が報告されています。Hyper-V 2.0 を使用する際は、下記のナレッジ情報の QFE を適用してください。QFE はマイクロソフト社の Web サイトより入手が可能です。

- KB981791 特定のアーキテクチャを持つインテル プロセッサを搭載したサーバで Stop Error (0x0000001a) が発生する可能性がある (<http://support.microsoft.com/kb/981791>)
- KB981836 Windows Server 2008 R2 Hyper-V 環境でゲスト OS が Windows Server 2003 の場合に ネットワーク通信が失われる (<http://support.microsoft.com/kb/981836>)
- KB2223005 Windows Server 2008 R2 Hyper-V 環境でゲスト OS が Windows Server 2003 または Windows XP の場合にネットワーク通信が失われる、(<http://support.microsoft.com/kb/2223005>)
- KB974909 ゲスト OS のネットワーク接続が失われ、仮想マシンのネットワークアダプタが無効になる (<http://support.microsoft.com/kb/974909>)
- Q840390 Windows Server 2003 で SMB\_COM\_FLUSH コマンドの動作を変更するアップデート (<http://support.microsoft.com/kb/Q840390>)  
Q840390 は、ホスト OS、ゲスト OS ともに適用願います。  
Windows Server 2003、Windows Server 2008 ともに適用可能です。

QFE の詳細は、マイクロソフト社公開のナレッジ情報をご参照ください。

## 12. FLASH FDD ご使用時の注意事項

Flash FDD を使用後は装置から取り外すようにしてください。Flash FDD を装置に接続したまま運用すると、Flash FDD が正常に動作しなくなる場合があります。Flash FDD が正常に動作しなくなった場合は、一旦、取り外し後、再度、本装置に取り付けてください。

## 13. エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)について

本 FT サーバでサポートしている主な通報要因は以下となります。

- ・ CPU/IO モジュール縮退
- ・ ハードディスク異常(ミラーディスク縮退含む)
- ・ 温度異常
- ・ ファン異常
- ・ UPS 異常(通報機能をサポートした UPS 管理ソフトウェア使用時)

※システムダウン後のリブート発生による通報は未サポートです。



\* 856-129161-001- B \*